

平成22事業年度

決 算 報 告 書

国立大学法人長崎大学

平成22年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	16,380	16,328	-52	(注1)
施設整備費補助金	1,569	723	-846	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,517	2,033	516	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	68	63	-5	(注4)
自己収入	24,418	27,068	2,650	
授業料、入学料及び検定料収入	5,162	5,072	-90	(注5)
附属病院収入	19,043	21,499	2,456	(注6)
財産処分収入	-	84	84	(注7)
雑収入	213	413	200	(注8)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,751	2,821	70	(注9)
引当金取崩	-	401	401	(注10)
長期借入金収入	1,875	1,846	-29	(注11)
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	5	-	-5	(注12)
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	3	3	(注13)
目的積立金取崩	-	-	-	
計	48,583	51,286	2,703	
支出				
業務費	39,035	40,278	1,243	(注14)
教育研究経費	21,760	20,780	-980	
診療経費	17,275	19,498	2,223	
施設整備費	3,512	2,632	-880	(注15)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,517	2,001	484	(注16)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,751	2,412	-339	(注17)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,768	1,739	-29	(注18)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	40	40	(注19)
計	48,583	49,102	519	
収入-支出	-	2,184	2,184	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で見込んでいた承継剰余金過不足調整額が、前中期目標期間繰越積立金となったため、予算金額に比して決算金額が52百万円少額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、長崎大学(坂本)先端研究施設にかかる事業費が工期の延長により翌年度に繰越されたことにより、予算金額に比して決算金額が846百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった最先端研究開発戦略的強化費補助金等の採択による事業収入があったため、予算金額に比して決算金額が516百万円多額となっております。

(注4)国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では前年度と同額を見込んでいたところ減額されたため、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっております。

(注5)授業料、入学料及び検定料収入については、予算段階との人数及び授業料免除の差異等により、予算金額に比して決算金額が90百万円少額となっております。

(注6)附属病院収入については、手術件数の増等により、予算金額に比して決算金額が2,456百万円多額となっております。

(注7)財産処分収入については、予算段階で見込んでいなかった宿舎敷地の土地売却収入により、予算金額に比して決算金額が84百万円多額となっております。

(注8)雑収入については、病院外来駐車場収入の増等により、予算金額に比して決算金額が200百万円多額となっております。

(注9)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、寄附金収入の増等により、予算金額に比して決算金額が70百万円多額となっております。

(注10)引当金取崩については、予算段階では予定していなかったため、予算金額に比して決算金額が401百万円多額となっております。

(注11)長期借入金収入については、感染症センター改修にかかる事業計画の変更により、予算金額に比して決算金額が29百万円少額となっております。

(注12)承継剰余金については、予算段階で見込んでいたものが前中期目標期間繰越積立金となったため、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっております。

(注13)前中期目標期間繰越積立金取崩については、病院訴訟にかかる費用発生のため、予算金額に比して決算金額が3百万円多額となっております。

(注14)業務費については、診療経費において附属病院収入の増収を図るための費用が増加したため、予算金額に比して決算金額が1,243百万円多額となっております。

(注15)施設整備費については、(注2)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が880百万円少額となっております。

(注16)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が484百万円多額となっております。

(注17)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については寄附金での執行の減等により、予算金額に比して決算金額が339百万円少額となっております。

(注18)長期借入金償還金については、支払利息の減少により予算金額に比して決算金額が29百万円少額となっております。

(注19)国立大学法人財務・経営センター施設費納付金については、(注7)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が40百万円多額となっております。